

QUEEN BEETLE 乗船レポート

～門司区役所の新採職員・伊東が

高速船 QUEEN BEETLE（博多港～門司港）に乗って～

1. 初めての搭乗手続き
2. 乗船から出港までのひと時
3. いよいよ出港です
4. 船内の様子
5. 特別イベントの様子
6. 船内設備
7. 個人的にうれしかった点（4項目）
8. 門司港到着
9. まとめ
10. 最後に

1. 初めての搭乗手続き



搭乗手続きをクイーンビートル窓口で行ってから乗り場（イベントバス）に移動した。3 つほどの窓口で搭乗手続きがされていたが、今回は初便ということもあって並んでから手続き完了まで30分弱かかり、今回乗船するお客様の多さを感じた。次回以降も人気のある便としては、もう少しスムーズに乗船出来たらよいかと思った。

乗船前にクイーンビートルを見た第一印象としては、このような大型客船は初めて見るということもあり、その大きさと真っ赤な色によって醸し出される存在感に圧倒された。

クイーンビートルの周辺は取材陣や写真撮影をされている方も多く、今回の就航に対する期待感を強く感じた。

2. 乗船から出港までのひと時



ダンスで出港を見送ってくれた
精華女子のみなさん👏

「いってきま〜す！！」

船に乗り込むときにはジャズの演奏がされており、博多港のふ頭では記念セレモニーで乗船者へ向けてダンス披露がされて出港を盛り上げてくれた。実際に、クイーンビートルの窓越しにダンス披露演技や、関係者の方々が手を振ってくれているのを見て、これからの船旅への期待と、テンションが上がっていくのを感じた。

出港前から船首の目の前には「博多ポートタワー」が見え、船尾側にはマリンメッセがあったりと、船旅での出港にあたって多方向に景色も楽しむことができた。



ぶどうジュースは高級な味が
してとっても美味しかったです！

搭乗手続きの際にチケットとともに渡される書類の中に、この就航に合わせて作成した「門司港まち歩きマップ」も同封されており、乗船させていただきしっかり PR しなければならない責任感を感じた。周りのお客様もウェルカムドリンクとして用意されていたスパークリングぶどうジュースを飲みながら、出航前の少し空いた時間にマップに目を通されているのを見て少し嬉しく思った。お客様の会話の契機をつくるとともに、門司港に下船した後にスムーズに観光できるよう役立っていたのではないかと感じた。

船内にはそのほかのパンフレットも配置されており、門司の魅力をアピールできる機会は多々あったように感じたので、今後も様々なツールをもっと活用できると感じた。

3. いよいよ出港です

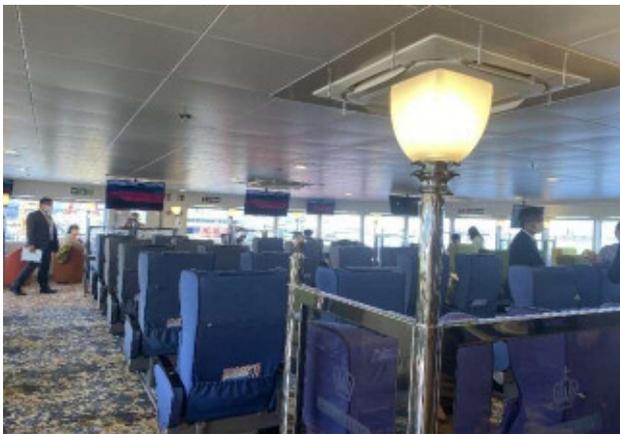


徐々にふ頭を離れていく
様子を撮影📷

いざ出港すると、お客様全体が「いよいよスタートだ！」という高揚感に包まれている様子につられて、私自身もついついワクワクした。出発してすぐは窓からの景色を見ようとわれ先にと席を立て移動し、写真や動画を撮影する人が多くいた。船はゆっくりと岸壁を離れ、徐々に開けた海の景色や「paypayドーム」「福岡タワー」などの観光地が見えてくると船旅の始まりに気持ちの盛り上がりを感じた。

また、出発までの停泊のときは多少揺れを感じ、酔わないかが不安であったが、出港しスピードが出ると揺れは全く気にならなかったので安心して楽しむことができた☺

4. 船内の様子



私は、乗船前は船のイメージとして窮屈なイメージも何となく持っていたが、クイーンビートル内は想像していたよりも充分広々としていて、さらには明るく高級感も感じられる内装であった。また、座席の一人一人のスペースも十分確保されていて、座席もリクライニング機能があってリラックスできたので、船旅に不慣れな私でも長時間の旅をくつろいで過ごせた。

スタンダードクラスの客室は、ゆったりとした空間が確保されて余裕を持って楽しむことができ、想像した以上の快適性を強く感じられた。また、2階のビジネスクラスも見学させていただいたが、さすがにスタンダードクラスの雰囲気よりも格調高く感じられて、こちらの席での船旅の快適性も容易に想像できた。

5. 特別イベントの様子



本格的かつメニューも豊富で
仕事でなければ
ぜひ飲みたかったです（笑）
次乗るときは必ず！

就航記念として、船内では様々なイベントが開催されていた。

まず、ビジネスクラスでは、出港前の乗り口にて演奏してくれていたプロのサクソ奏者によって本来サンセット周遊限定のはずのジャズ演奏が披露され、しっとりと落ち着いた大人の空間に包まれたように感じた。

また、海上保安庁の協力でクイーンビートルの真横で救助訓練をしている様子や、門司港の接岸前にはお出迎えをしてくれるように市消防局の協力で色のついた水の放水パフォーマンスなど、普段なかなか見ることのできない初就航を祝うイベントを見る機会が設定されていた。ほかにも、キオスク（飲み物やフードを購入できる売店）では特別カクテルの提供があったりした。

放水パフォーマンス@門司港
色のついた水が綺麗でした✿



出港から着岸まで随所にお客様を楽しませようとしたおもてなしの精神を感じ、非常にワクワクとして飽きの来ない楽しい航海であった。

6. 船内設備

先にも述べた通り、船内設備は非常に充実していた。座席等での過ごしやすさに加え、さらに良かったと思った点が4つある。

(1) バリアフリー化が進んでいた点



バリアフリー完備

使いやすいだけでなく
絵が飾られていたりと
とてもおしゃれな空間でした！

1 つ目は、バリアフリー化が進んでいたと感じたこと。スロープや階段には車いす昇降機が設置されており、すべての人が3階にある展望室や、行きたいと思ったところに移動しやすいようになっていた。高齢化社会の現代において、若い世代である私が改めて気づくくらいの配慮がなされていたと感じる。

(2) 広い荷物置き場の存在



スペースが確保された荷物置き場

2 つ目は、荷物置き場のスペースがしっかりと整備されていたこと。大きな荷物を持っている人が預けることができるスペースや、最近ブームとなっている輪行に対応できる自転車置き場なども船内にあり、多様な形態の旅行者に対する配慮が整えられていた。今回は利用している人はいなかったが、荷物を預けて気にせず船旅を楽しむことができ、非常に便利だと感じた。

(3) 楽しめる施設の充実



3 つ目は、キオスクやお土産売り場などの船内を楽しく過ごすための施設が充実していたこと。キオスクでは、ノンアルコールの門司港バナナカクテル（バナナの叩き売り発祥の門司港の私としては嬉しい☺）や、県内の名産品を使った軽食などメニューが豊富で利用者でにぎわっていた。スタンダードクラス、ビジネスクラスの両フロアに設置されており、多くの人利用されていた。実際に食べるととても美味しく、船の上で海を見ながら食べる食事はなおさら格別と感じた。

お土産売り場では、食品からご当地グッズまで幅広く取り扱っており、糸島や門司港など観光地として有名な場所のものがそろえられており、乗客もあちらこちらと品定めをしていたように見受けられた。

(4) キッズスペースの設置



4 つ目は、キッズスペースも設置されていたこと。今回のクイーンビートルに乗船されていたお客様は若干年齢層が高めであったが、小さなお子様連れのご家族も見受けられた。大人は志賀島や巖流島など見所で流れるアナウンスごとに外の様子を見たり、船内でくつろいだりと満喫していたが、子どもは飽きてしまうのではないかと懸念もあった。

しかし、スペース自体はそれほど広くはなかったが、子どもが遊んだり、騒いでも大丈夫な空間を用意していることで、ここでもすべての人が楽しめるようにという思いを感じた。きっと家族連れの旅行で乗船した人たちは、こうした施設があるとありがたく感じるだろうなと思えた。

7. 個人的にうれしかった点（4点）



(1) 私がお出かけをするときにあったら嬉しいと思う点の1つが、まずWi-Fiの完備である。クイーンビートル内にはフリーWi-Fiが使える、QRコードを読み込み登録することでWi-Fiの利用ができた。SNSを利用する際や船でゆったり動画などを見て過ごしたい人も、データ容量を気にせず安心して利用できる点が、この間まで学生だった私にはありがたい設備に思えた。

(2) もう一つ嬉しかったのが、クイーンビートル内では充電設備も完備されていたことである。景色が良いうえに船上からの見所が多いため、今回私はフル充電して持って行ったスマートフォンが下船するときには10%しか充電が残ってなく、困ることになった。今回は充電コードを持参していなかったのが、利用できなかったが、スマホ時代に対応したニーズに合わせた設備が整っていると感じた。

(3) また、船内には自動販売機も設置されており、ビジネスクラスでは無料で利用ができたことが嬉しく、喜ばれて利用されているお客様も多くいた。スタンダードクラスでは有料ではあったが、販売内容の種類も多く、利便性は高いと感じた。

(4) 加えて、お手洗いが清潔で綺麗であったのも女性の私は快適に感じられた。個室自体は数があまりなく行列になっていた時間もあったが、お化粧直しのスペースや鏡自体が光る仕様になっており、女性の目線に立って細やかなところではあるが、こうした配慮に船旅の快適性とおもてなしの気持ちを感じた。

8. 門司港到着



門司学園の学生の
歓迎とお出迎え☺

「ただいま〜！！」



ご存知！

門司区マスコットキャラクター
＼＼じーも&スナQ／／

門司港が近くなり海峡に入ると景色がまた変わり、趣があって楽しめた。左手に下関、右手に北九州に挟まれ見所が多くあった。船から市内の陸側を見る機会はそうそうないので、見る方向が変わるだけで見慣れた景色も初めて見る景色となり、新鮮な気持ちで地元を見ることができた！

途中、海上保安庁が小型船で「祝・門司港入港」の電光掲示板を掲げ並走してくれて、こうした歓迎ムードの中、門司港に到着した。接岸後にタラップを降ろすまでに時間がかかったようだが、その間もプラスバンドによる演奏やセレモニーが行われており、それを船の中から見ることで気長に待つことができた。

しかしながら、門司港の観光を楽しみにされていた方にとっては接岸が待ち遠しく、早く降りたいというお客様が集中し、結果的に出口が込み合う形になっていた。初便ということもあるだろうが、これは1番今後頑張っていってほしい点だと思う。

一般の方は、ふ頭の区切られたフェンスの外からクイーンビートルを一目見に来られていたが、予想外に多くの方がいて市民の注目度も高かったのではないかと感じた。

クイーンビートルの就航が観光の一因となり、門司港が全体的ににぎわっていたので、今後クイーンビートルが来るたびにこれが続けば喜ばしく思う。

9. まとめ



今回のお客様は年齢層が高い方が多いように感じられたが、若い世代でも楽しめるところが多くあった。

いろんな世代の人にも過ごしやすい環境が整っていると思えるクイーンビートルの魅力がより幅広い世代に広がれば、もっと若いお客様も増えていくと思われる。そのためには、乗船金額以上の価値をどのように伝えていくかが大きな課題だと感じた。

大学生や、社会人になりたての私たちのような世代にとって、クイーンビートルの値段は正直安くはないと個人的には思う。(スタンダードクラスで片道 6,600 円)

反面、少し贅沢でゆったりとした時間の提供や、今回私が見た、普段は見ることのできない海からの福岡、北九州、関門の景色をはじめとする新たな魅力、それらがクイーンビートルの強みであると感じた。

【お得なツアー情報！！】

商品名：「HIS 九州バスツアー」

船内にて韓国チキンとビール・ハイボールを含むドリンク 2 杯付、博多港到着後はバスにて小倉駅を經由し門司港へ（途中、福岡市内で人気の韓国スーパーへ）

通常 8,980 円が 1,000 円分の地域クーポンもついて県民割 5,980 円に！

このようにクイーンビートルをお得に楽しめるプランも今後どんどん増えていくことで、まずは様々な人にクイーンビートルでの船旅の良さを知ってもらいたい。

特別な日やちょっと日ごろとは違う過ごし方をしたいと思った方の選択肢のひとつに今回の「クイーンビートル（博多港～門司港）」が入ることができれば、クイーンビートルの乗客増と同時に門司港の観光振興にも大きく寄与できるのではないかと強く願う。

そのためには、若い人にも届く情報のアプローチが重要になると考えた。SNSなどの広報媒体をきっかけにクイーンビートルの存在を広く周知していければと思う。

私が今回乗船し感動した、快適性や清潔感、使いやすさ、すべての人にとって良い点をベースとして、実際に見た景色の綺麗さや「インスタ映え」ポイントなどを付加して情報発信をしていけばいいと考える。

10. 最後に

最後に、今回の乗船の機会をいただいた JR 九州高速船のご担当者様には深く感謝いたします。貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。

※今回の航路図（個人的見所ポイント）



- ①paypay ドーム・福岡タワー
- ②志賀島
- ③大島
- ④海上保安庁海上訓練
- ⑤白島
- ⑥藍島
- ⑦洋上発電所
- ⑧祝・門司港初入港
- ⑨巖流島
- ⑩海から見た門司区役所
- ⑪放水パフォーマンス